

平成25年度 倉吉市地域学校推進協議会

1 目的

地域学校委員会は、地域の住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と地域住民等との信頼関係を深め、地域及び学校がその教育力を相互に高め、共に児童生徒の豊かな学びと育ちの創造を目指すものとする。

2 実施日 第1回 6月27日(木) 15:00～16:45

第2回 2月15日(土) 9:30～11:30

3 主催 倉吉市教育委員会学校教育課

4 対象者 各小中学校地域学校委員会会長、教頭

5 内容

第1回

講演「地域のみんで子どもを育てる～学校支援ボランティアの成果と課題～」

鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 係長 大羽 省吾氏

○「現在の子どもを取り巻く環境の現状と課題を考えながら、学校・家庭・地域が一つになって子どもの育ちについて連携して取り組んでいくことは、未来のまちづくりに参加していることにつながっている」という内容で、各学校の学校支援ボランティア事業の活用や特色ある地域学校委員会の仕組みを紹介していただいた。

第2回

(1) 実践発表

小鴨小学校地域学校委員会の実践発表

小鴨小学校地域学校委員会会長

廣谷 啓一氏

○小鴨小学校での地域学校委員会の活動の様子をプレゼンテーションしていただいた。

○地区公民館を介して、他団体の事業をうまく学校の活動につなげておられる実践発表であった。



(2) 中学校区グループでのワークショップ

「地域行事や他団体の事業等の活用と子どもの出番づくり」

○各学校ごとに、児童生徒につけたい力や課題をあげ、地域の中での他団体の事業が児童生徒の活動に結びつかないかを話し合った。その後、グループで、それらの構想を発表し、意見交換を行った。

○学校の特色ある取り組みや課題について話し合う中で、今後の活動についてのアイデアや問題点の解決方法につながって行く話し合いとなった。



(3) 指導助言

鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 係長 大羽 省吾氏

倉吉市の地域学校委員会のあり方は、全国的に見ても先進的で、方向に間違いはないという力強いお言葉をいただいた。

これからの地域学校委員の必要な能力として、プレゼンテーション能力・コーディネート能力・ファシリテーション能力の3つがあるとのこと示唆があり、これらの力をつけていながら、学校と地域が協働して子どもを育てていくことの必要性について改めて理解することができた。

また、全国で取り組んでいる先進的な事例や倉吉のよさについてのお話を聞かせていただくことで、参加者は、今後さらに学校と地域とが協働して子どもを育てていこうという意欲を高めた。

